

## 市場の活性化を考える会（第7回）議事概要

【開催日時】 令和2年5月13日（水） 書面開催

【議 題】 ○市場の活性化に向けた論点整理について  
○各市場における経営戦略等に関する取組

### 【議事概要】

#### （1）主な意見

##### ◆サプライチェーンにおける中央卸売市場の基本的な役割

- ・ 卸売市場の公共性の再定義、基幹インフラとしての存在意義を再認識した。
- ・ 卸売市場の機能は「他のプレイヤーでは代替が困難」ということをより詳細に検討する必要がある。
- ・ 「安定供給」を出発点とする論点構成ではなく、「都民のどのような需要に応えるのか」を議論の出発点に据えるべき。

##### ◆基幹的インフラとしての中央卸売市場の存在意義と今後の取組

- ・ 事業者にとっての開かれた取引の場としての役割に加え、一般消費者や市民（地域住民）も対象とした付加的な機能も必要だ。
- ・ 卸売市場が安定的なサプライチェーンの一翼を堅持するためには、気候変動への対応やSDGsへの対応が不可欠だ。

##### ◆都の中央卸売市場における活性化の方向性について

- ・ 市場に対する需要が減少している中で、都民のどのような需要に応えるのかを議論の出発点に据えることが必要だ。
- ・ 市場業者の事業収益性の改善に向けた検討も必要だ。

##### ◆その他、新型コロナウイルス感染症拡大の影響についての主な意見

- ・ 従来型のBCPと今回の感染症対策との違いを整理したうえで、新型コロナウイルス感染症拡大への対応も提言に含めるべきだ。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、国内のサプライチェーン強化に向け、卸売市場がその基盤として機能するという視点が必要だ。
- ・ 消費市場の縮小、輸送手段の不足、サプライチェーンの長い産業や労働集約型産業におけるストレスなどを踏まえ、今後の社会のあり方がどのように変化するかという長期的視点からサプライチェーンへの影響を見る必要がある。
- ・ 有事の際の基幹インフラ機能とは何か、アフターコロナ時代を見据えた機能

を再定義したうえで、事業者の経営状況の変化（事業承継、事業再編等）等を踏まえた市場運営のあり方を検討すべきだ。

- ・ コロナ拡大を踏まえたサプライチェーンの変容について、その影響を踏まえた検討を進めることは重要だ。
- ・ コロナを契機に、BCPの要素に加え、商物分離の推進、市場での働き方の抜本的な見直し等を検討すべきだ。

#### ◆新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた追加検討の必要性について

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大を契機に、サプライチェーンを取り巻く社会の大きな変容が見込まれており、その影響等を見極めながら、今後の取組の方向性等について、議論を深化させていくべき。

#### (2) 今後の予定について

- ・ 第8回会議を8月中旬に開催する。